

学校運営協議会(全日制)部会 議事録

校名	大阪府立布施高等学校
校長	村田 知子

開催日時	令和7年3月3日(月)15:30～17:20
開催場所	本校校長室
出席者(委員)	久会長、川添委員、根井委員、大林委員、花崎委員、緒方委員
出席者(学校)	村田校長、田中教頭、石田事務部長、西村、山下、山口
傍聴者	坂井さま(河合塾)
協議資料	令和6年度学校経営計画及び評価、令和7年度学校経営計画、部活動の在り方について 等
備考	部活動の在り方(意見)については緒方委員より

議題等(次第順)

1. 学校長挨拶
2. 会長挨拶
3. 報告(①学校説明会 ②学校教育自己診断について③進路実績中間報告)
学校説明会については別紙資料により校外での参加状況と校内での参加状況等の最終報告を行った。
学校教育自己診断については別紙資料により、アンケート結果の報告と校長による分析結果が報告された。
4. 協議(①令和6年度学校経営計画について ②令和7年度学校経営計画について)
5. ご意見(①部活動の在り方について)
6. 事務連絡

・協議事項

①遅刻数が大幅に増えている。生徒は、自主自律できているのだろうか。また起立性調節障がいなどが増加の傾向にあるが、その点で遅刻・早退が増加している可能性もある。
→この数年で、起立性調節障がい等の診断を受ける生徒が増えている。それ以外でも体調不良で遅刻する生徒が多い。コロナ禍以降、体調不良で遅刻する生徒が増え、遅刻に対する意識が甘くなっていると感じている。

②学校教育自己診断で、「教職員は協力して教育活動を行っている」の項目について、カリキュラムを共有することや体系的に取り組むことで、自然と互いに連絡したり調整しあったりしながら協力すると思われるが、校内でどのような取り組みをしているか。
→スクールポリシーを作成した後、研修等で本校の課題等を議論し、その際にポリシーを確認した。教員の理解向上につながっている。

意見：進路実績から見える部分もある。どういう能力を身につけさせようとしているのか。丸暗記では、必要な学力と言えない。勉強の仕方を改め、総合的に力をつけることが求められるのでは。
→進路部としては学力だけではなく、志望理由書を書く指導の中で、何故その大学を志望するのか等の理由をしっかりと説明できるように指導している。

意見：観点別評価を導入して3年間が経過し、PDCAサイクルが2周目に入るところだと考える。これから自校のプランを再検討し、どんな力をつけるためにどんな指導をするかが課題と考える。

③令和7年度学校経営計画について中期目標を説明、承認していただいた。

・ご意見：

部活動の在り方について

意見箱の設置など保護者の声を聞くことや保護者と話し合うことが必要だと考える。
以前はPTA総会の後にPTA総会後の学年懇談会を行っていたが、コロナ禍でなくなってしまったこのような機会をもつことを検討する。

学校の回答：

→いただいたご意見並びにご助言について真摯に受けとめ、今後の部活動の在り方について検討させていただきたい。また、PTA総会の後に教員とPTAが交流できる機会についても、実現できるよう努めていく。

次回の会議日程

日時	
会場	